

1 参加者 学校運営協議会委員 4名, 校長, 学校事務局 5名

2 報告概要

① 平成29年度学校評価

《進路指導の確立》

「将来の生き方を考える機会がある(生徒への質問)」が前年調査より5%アップし87%に、進学講習を実施した教員の割合が8%アップし55%になりました。

《学力・授業力関係》

同窓会の全面協力により食堂をリニューアルし、自習室機能を持たせました。「授業に興味・関心(生徒への質問)」が1%減少し74%に、ICT活用教員が10%減少し73%になりました。

《人間性の育成：人権教育・生徒指導・部活動・海外研修等》

「集団のルールを守っている(生徒への質問)」が12%減少し74%になりました。携帯・スマホ指導として「登校時～終礼終了まで使用禁止」としました。その影響が大きく出たのではないかと考えています。

昨年度の遅刻者のべ数は一昨年よりも106件減少し、昨年度は2693件となり、部活動加入率は8%減少し77%になりました。これは1年生男子の加入率が低く、その原因究明と退部率減少が課題です。

海外研修は平成30年度以降も継続していきたいと考えています。

《地域に開かれた学校づくり》

「裏山を有効に活用できた(生徒アンケート)」は8%増加し72%になりました。

*%は、主に「平成29年度学校教育自己診断」結果より

② 平成30年度学校経営計画

(1) 概要説明

昨年度との変更点はアンダーラインで示しています。例えば、学力・授業力関係の部分では、「自分の考えを持つ力と自分を表現する力の育成」という項目を「自分の意見・考えをまとめる力と自分を表現し伝える力の育成」というようにしています。

《進路指導の確立》

3点チェックを生徒に自律的に実行するよう指導します。センター試験出願者を増やす取り組みは、「進路の選択肢を増やすために」行っています。

《学力・授業力関係》

ICT活用や授業改善を進めていきます。

《人間性の育成：人権教育・生徒指導・部活動・海外研修等》

部活動に加入しない原因及び退部の原因究明をしていきます。海外研修は今年度、参加者を20名に絞って実施する予定です。

《地域に開かれた学校づくり》

従来使用していた「学校見学会・体験入学会」という名称を「学校説明会・クラブ見学会」と変更しました。

《校務効率化・職場環境改善》

本校では水曜日を「全校一斉退庁日」とし、「ノークラブデー」は各クラブごとに週一日設定しています。

新たに「学校の組織力の向上」という項目を立てました。具体的には、「室制度」－「学校運営室」・「生徒支援室」を設置し、各室長に首席を充て、学校内の各組織が連携し、取組みが円滑に実施出来るよう調整していきます。

(2) 各分野の説明

《進路指導》

今年度の3年生も4年制大学進学希望が多く、約91%となっています。

今春の入試結果は、延べ合格数としては例年並みでしたが、合格率から見ると少し厳しい結果となりました。

初期指導としては、「3点チェック」を1年生の1学期中実施します。

《教科担任による「進路相談」(教科面談)》

6月に3年生対象に「教科担任による『進路相談』(教科面談)」を実施します。生徒が進路に関する相談を授業担当者に出来るよう設定しています。

《思考力・判断力・表現力向上をめざす取組み》

今春卒業した39期生から取り組んできました。今年度は1年生が「総合的な学習の時間」にテキストを用いて行っています。さらに各授業でも「思考力・判断力・表現力」を意識した授業展開を行っています。秋の授業研修ではそれらの取組みの研修を考えています。

《少人数授業等に関して》

本校で実施している「少人数授業」は3種類です。①少人数習熟度別講座(1年生 数学I, 英語表現I, 2年生 数学B, ECII):生徒の学習状況に応じ、数学や英語の実力向上のためきめ細やかな授業を行っています。また、年度途中で1~2回の講座変更も行います。②ティーム・ティーチング(1年生 情報):片方の教員がメインで授業を行い、もう1名が生徒の個別指導を行います。③その他:3年生の各種選択授業の一部については、少人数対応となっており、きめ細やかな指導を心がけています。

また、来年度、41期生の3年次から「理型国語」を開講します。この科目で理系のセンター試験での古典対応を行います。

《人権教育》

SNS利用等の情報リテラシーに関する指導を行います。

《生活指導》

今年度は1週間ごとの遅刻集計を各学年で出しています。「頭髪・服装指導」では、どこまで徹底させるかを検討しています。

昨年度、「子どものことを学校に気軽に相談できる(保護者への質問)」が34.6%でした。引き続き、相談していただきやすい環境になるよう努力していきます。

《部活動・体育大会関係》

体育大会は4月から2ヶ月かけて準備を進めています。部活動以外で他学年同士が関わられるように縦割りの団で体育大会を行います。今年度は教員が指導しやすいように組織図を示しました。実際のプログラムでは、熱中症対策のため昨年より1種目減らし、早く終わるようにしました。

今年度5月現在の部活動加入率は約80%です。昨年度より少し持ち直しました。本校の部活動の強みの1つは、技術指導が出来る教員が多いということです。

《海外研修》

今年度は行先をオーストラリアのパス1ヶ所に絞りました。参加予定者は20名です。英語研修はもちろんですが、それ以上に多文化体験・理解に重点を置いています。

今回も1家庭に1名のホームステイを予定しています。

《春の授業公開》

昨年よりも1年生の保護者が多く来ていただけました。詳細はアンケートでご確認ください。

《室制度》

学校運営室、生徒支援室—教育相談委員会は独立しています—を設置しました。この室制度を活用し、学校内の各組織が連携し、いろいろな取組みを円滑に実施するよう調整していきます。

《Vision 検討会》

今年度よりリニューアルした経営委員会で議論し、学校経営計画を具体化・共有化することを目的に行います。ワークショップをするだけでなく、それを基に経営委員が具体案を示し、他の教職員と議論しながら進めていきたいと考えています。

1学期中に方向性を示すことが出来ればと考えています。

③ 学校経営推進費事業:「刀根山・里山活用プロジェクト~人を育てる拠点として~」

本プロジェクトでは3年計画で、多くの本校生が裏山の環境保全活動や防災活動などへの取組みを通して地域の人々や大学などとの交流を深め、その活動を通して様々な学問への興味や進路意識を高めることをめざしています。

現段階では生物エコ部が中心となって裏山を活用していますが、最終年度の今年度は、できれば様々な授業や特別活動で活用していきたいと考えています。

3 協議概要

《遅刻指導》

・遅刻しないというのは、全ての基本です。去年は通勤途中に生徒がすれ違うのが、遅刻ギリギリの時間帯でした。しかし、今年は少し早いと思います。改善傾向にあるのではないのでしょうか。

A：今年度の傾向はまだわかりません。これからもしっかりと指導していきたいと思っています。

・国公立大学の受験者数が少なくなっていますが。

A：国公立大学へ行けるなら行きたいと考えている生徒は多いです（2年生4月調査 86名）。

しかし実際は、実家から通える所は少なく、地方となると、家庭事情も関係することから受験者数は伸びていません。

今後、保護者も含めてアナウンスしていきたいと思っています。

・とても地域がお世話になっています。イベントで「刀根山高校が参加します。」と伝えると、人が集まります。生徒の印象がとても良いです。生徒に何か還元できればと思います。

・最近、頑張っている部活動は何でしょうか。

A：硬式野球部が春季高校野球大阪大会で5回戦進出（ベスト16）し、男女バレーボール部が1部に属しています。また、ダンス部が6年連続全国大会に出場しています。

☆ 次回、第2回運営協議会は11月19日（月）午後3時30分～